

## 小型ロケットZEROを開発するインターステラテクノロジズ 北海道帯広市に5か所目の拠点を開設 ーエンジンや構造部の組立・保管など、生産体制強化へー



宇宙輸送と宇宙利用を通じて地球の課題解決を目指す宇宙の総合インフラ会社インターステラテクノロジズ株式会社（本社：北海道広尾郡大樹町、代表取締役 CEO：稲川貴大、以下インターステラテクノロジズ）は2024年10月、事業拡大のため、北海道帯広市に帯広支社を開設しましたので、お知らせいたします。支社としては東京、福島に続く3か所目、北海道大樹本社と研究開発拠点である室蘭技術研究所（室蘭工業大学内）を含めると拠点としては5か所目となります。インターステラテクノロジズが開発している小型人工衛星打上げロケット「ZERO」（以下ZERO）は初号機打上げに向けて各コンポーネントの製造・試験が本格化しており、拠点拡大を通じて生産体制と人材採用の強化を図ります。

### 最大収容人数50人規模のオフィス機能も

帯広支社の設置は、ZERO用コンポーネントの製造本格化に合わせ、大樹町にある本社工場が持つ生産機能を補完するとともに、手狭になっている本社オフィスを拡張することが目的です。建物は旧物流倉庫を借り受け、2024年1月から改装工事を行ってきました。改装工事の設計と施工は、インターステラテクノロジズのパートナーシッププログラム「みんなのロケットパートナーズ」に参画いただいている萩原建設工業株式会社（本社：北海道帯広市）に担当いただきました。

帯広支社1階はエンジンおよびエンジンを支える支持構造部、機体の胴体構造部などを組み立てたり保管する製造拠点となります。ターボポンプやバルブなどの組立作業を行うクリーンルームも備えています。支社で製造されたコンポーネントは本社工場に運び、各種試験や最終組立を行います。2階には最大収容人数50人規模のオフィス機能を設けました。2024年10月よりエンジン設計や試験を担当する推進グループと、エンジン用ターボポンプグループのメンバーら約20人が勤務しています。

## 【帯広支社 概要】

所在地 : 〒080-0010 北海道帯広市大通り南33丁目2  
 用途地域 : 準工業地域  
 敷地面積 : 4176.48㎡  
 建築面積 : 1806.00㎡  
 延床面積 : 2397.52㎡  
 建築 : 鉄骨造、地上2階建て  
 工期 : 2024年1月～2024年5月  
 設計・施工 : 萩原建設工業株式会社



クリーンルームを備えた1階工場



最大50人収容可能な2階オフィス



正面エントランス

## 《インターステラテクノロジズ株式会社 会社概要》

インターステラテクノロジズは、低価格で高頻度な宇宙輸送サービスを提供することで、誰もが宇宙に手が届く未来の実現を目指すスタートアップ企業です。北海道大樹町に本社を置き、東京支社と福島支社、帯広支社、室蘭技術研究所（室蘭工業大学内）の5拠点で開発を進めています。観測ロケットMOMOでこれまでに計3回、国内民間企業単独として初めて且つ唯一の宇宙空間到達を達成、次世代機となる小型人工衛星打上げロケットZEROの開発を本格化させています。人工衛星開発事業Our Starsも手がけており、国内初のロケット×人工衛星の垂直統合サービスを目指しています。

所在地： 北海道広尾郡大樹町字芽武149番地7

代表者： 代表取締役 CEO 稲川 貴大

事業内容：ロケットの開発・製造・打上げサービス

<https://www.istellartech.com/>